

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社道の駅とよはし
2 貴社の取組状況について	
(1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景	
・誰もが育児参加しやすい環境を整えるために男女問わず、育児休暇や子育てに関する休暇の取得を推進している。その一環として男性育児休暇が取得できる環境を整えている。	
(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組	
・男性社員が育児休暇を取得しやすいように前もって育児休暇の取得を組織内に周知徹底を行った。	
(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点	
・取得対象社員が抱える業務割振りの見直しや属人化を防ぐためのチーム体制による業務の推進を徹底した。	
(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと	
・可能な限りリモートワークに対応／出勤時間の変更などフレキシブルに対応した。	
(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください	
・業務割振りの見直しや、仕事の見えるか、シームレスな業務環境体制を整えることで、いつでも・どこでも・だれもが業務に関われる体制を構築。	

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算35日間
2 育児休業の取得について	
(1) 育児休業を取得したきっかけ	
・家庭で第三子が誕生することで妻の育児負担がより大きくなるため、第三子と長男、長女（未就学児）の育児参加を積極的に行い、妻の負担を減らしたく取得を希望した。	
(2) 育児休業を取得して良かったこと	
・育児休業の取得前には実感が湧かなかった妻の育児に関連する精神的・負担を理解することができた。また、職場のスタッフにも自分の業務の棚卸ができたり、業務負担の分担ができたことが良かった。	
(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点	
・業務の見える化に取り組んだこと。また業務を属人化しないことを意識して取り組んだため、会社内での業務の理解が進み、引継ぎが不要になった。	
(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること	
・育児休業を取得前よりも業務のリスクヘッジをより考慮して取り組むことになった。	
(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス	
・育児休業の取得で自分の属する組織に迷惑をかけてしまうと考えている方もかもしれませんが、組織にとってプラスになる側面も大きいので、短くても良いので取得をおススメいたします。	

(注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。